

アンター株式会社

事業名: へき地や地域医療圏の医師同士の情報共有ネットワークの構築

Q. 実証事業に応募したきっかけを教えてください。

「クリ“ミエ”イティブ実証サポート事業」のホームページ上で、「医療」が募集テーマとして掲げられており、また具体的な課題として「有人離島やへき地での医療の充実」と記載されていました。自社では、医師間の情報格差の是正のため、オンラインのネットワークで医師を繋げるサービスを展開しており、三重県で掲げている医療課題ともマッチすると思えました。

Q. 三重県で実証して良かった点を教えてください。

三重県からの手厚いサポートを受けることができたことが良かった点です。担当していただいた県職員の方の、熱量と行動力に驚きました。実証事業を行うにあたり、様々な関係者を繋いでいただいたおかげで、三重県内のネットワークを広げることができました。また、自分たちが実証事業を行うため、三重県内の医師にサービスを説明しに行く際にも、県職員の方が同行してくれる等、サポートいただきました。説明先の医師も、県庁が関与していることで、安心して、協力してくれたと考えています。

Q. 本事業で何を実証したのか教えてください。また、その結果もあわせて教えてください。

既存サービスAntaaは、全国の医師が参加し、相談することのできるオンライン環境を提供しています。今回の実証事業では、既存サービスの中に、三重県内の医師のみが参加できる三重県版ネットワークを新しく作りました。かかりつけ医が、地域で適切な診療をすることができるよう支援することが目的です。三重県のかかりつけ医が診療に困った際には、身近な医師に、地域特性を踏まえた相談ができます。三重県版ネットワークは2月15日にオープンし、三重県内の医師にご参加いただいております。「地域版だからこそ、個別の診療に関する相談だけでなく、地域医療全般の意見交換もしてみたい」というお声もいただきました。

Q. 今後、この実証事業を三重県または全国でどのように展開していくのか教えてください。

今後、三重県内のネットワークをさらに拡大させていきたいと考えています。また、ローカル版のネットワークは、三重県だけでなく、全国で展開の可能性があると考えています。ローカル版のネットワークを全国に広げることで、各地域の医療費削減や医師の負担軽減につなげていきたいと思っています。

< 三重県担当職員からひと言 >

地域医療においては、医師不足や医師の地域偏在等の課題があるなか、さらに新型コロナウイルス感染症拡大が追い打ちをかけ、医師の業務は激化しています。アンター様のサービスにより医師の不安が解消され、業務の効率化につながることで、地域医療が課題が少しでも解決されることを願っています。

(創業支援・ICT推進課 矢形さん)



< 実証事業の様子 >

三重県は医師同士のネットワーク構築にAntaa QAを使います

※サービス内に三重県の医師のグループを作成し、2021年1月から運用開始します。

AntaaQA

医師が診療における相談を投稿し、別の医師が回答する、医師同士のオンライン相談室です。医師が判断困難な症例などの質問を他の医師にスピーディに投げかけられ、別の医師が回答する仕組みです。医師限定のサービスで、PCとスマホの両方で利用可能です。

登録医師数
24,000人
※2020年12月31日時点

